

「峰山小学校の太郎太郎踊り伝承活動の取組」

1 学校名

薩摩川内市立峰山小学校

2 学年・人数

5・6年生 9人（5年生5人，6年生4人）

3 日時・場所

（1）練習の日時・場所

令和2年2月26日（水） ふるコミ（6校時） 本校体育館

（2）発表の日時・場所

令和2年3月1日（日） 9：30～11：30 南方神社

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

（1）名称

太郎太郎踊り（たろうたろうおどり・たろたろおどり）

（2）由来

およそ500年前に五穀豊穰を願って始まったとされる田起こしと出産の様子を表した劇である。県の無形民俗文化財にも指定されている。

（3）構成等

オンジョ（祖父）・テチョ（父）・太郎・孫・ヨメジョ・牛が登場し，仕事を休みたがる太郎とそれを諫めるテチョがユーモラスな掛け合いを行う。児童は，孫役として参加している。くわの形をした木をもち，「太郎太郎，はよ牛をひてけ。太郎太郎，はよ牛をひてけ。」と言いながら田を耕す。劇の時間は40分程度である。

5 保存会や地域との連携の具体

かつては育成会ごとに孫役の依頼や練習を行っていたが，児童数の減少とともに学校へ依頼されるようになった。練習は，ふるコミの時間を1時間使って行っている。主に5・6年生が孫役として参加している。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

峰山地区に伝わる，県の無形民俗文化財に指定されている「太郎太郎踊り」に孫役として参加することで，ふるさとを愛する子供達となっていくと考え，ふるさと・コミュニケーションの内容として取り入れた。練習も，保存会の方々

が来校し、指導をしてくださるので、非常に効率的、効果的にできる。今度も学校で協力できることをしっかりと行っていきたい。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【参加児童】

最初は難しく思ったけど、保存会の方々が優しく教えてくれたのでよかった。寒かったけど、しっかりできた。

【保護者】

伝統のある地域行事に参加させることで、伝統を大切にすることを感じられたと思います。参加させてよかったです。

【教職員】

ふるさとの郷土芸能に参加することで、地域の方々の想いを知り、伝統を引き継ぐ経験をして、ふるさとを愛する心が育ったと思います。

【保存会】

「太郎太郎踊り」は今後も続けていきたいと思っているので、小学生の参加をお願いしたいと思います。また、参加することで、地域の人々の想いを感じ取って引き継いでいってほしいとも思っています。